



# まちづくり懇談会

## 「モンベル誘致と道の駅るもいの将来像」

7月21日(金)、留萌産業会館におきまして、令和5年度まちづくり懇談会を開催し、市民60人が参加しました。

特集

問 市・政策調整課 TEL 42-1809

### 1部 市からの情報提供

#### ① 市政の取組状況及び財政運営等

「アウトドア観光」「食料安全保障」「子育て支援と食品製造」「未来指向型教育」「再生可能エネルギー」の5つの核・拠点形成についてと、現在の留萌市の財政状況と今後についての説明。

#### ② モンベル誘致と道の駅るもいの将来像

「モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想」に係る総事業費、現在のレイアウトイメージ、今後のスケジュール、誘致後の期待効果についての説明。

### 2部 市長と市民との意見交換

#### ① 中西市長と伊端座長の対談

Q 伊端座長 モンベルは本当に来るのですか？

A 中西市長 先日（7月18日(火)）、モンベルの辰野会長とお会いをし、辰野会長からは、「現在の物価上昇等の社会情勢を踏まえたうえで、『モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想』については、見直ししてもいい。ただ、留萌には間違いなく行きます。」と言ってもらっている。

Q 伊端座長 本当に41億円はかからないの？

A 中西市長 構想全体をやろうとすると41億円がかかるが、拠点施設のみとなれば12.2億円となっている。辰野会長からは、拠点施設以外の部分については、規模を半分にするなど、もう少し考えてもいいと言ってもらっている。

Q 伊端座長 「地元の恩恵」って何？

A 中西市長 多くの交流人口、多くの人が道の駅に来ている。その人たちが違う目的で来るということで、そこから違う流れがまちにできると考えている。

Q 伊端座長 今後の財政負担は大丈夫？

A 中西市長 財政運営というのは、常にバランスをとっていかないと考えている。市の歳入というのはあくまでも市税と交付税、これが主に占めている。他にも、事業をやることによつての補助金やふるさと納税として入ってくる金額を見ながら全体的な支出を判断している。

#### ② 参加者との意見交換(一部抜粋)

Q 市民A 計画って41億円ではなく、拠点施設以外の部分を半分か3分の2になったというような雰囲気だったが、そうすると総額いくらになるのか。

A 中西市長 まずは、拠点施設として12.2億円と残りについては、モンベルとも協議しながら、コテージやキャンプサイトの数を減らすなど（アウトドアヴィレッジ全体の）計画を見直し、予算に合わせた形で有効的な活用を考えていきたい。

Q 市民B 今後、既存の公園施設や船場公園に隣接している旧留萌駅の解体後に新交流複合施設が出来たときに、それぞれモンベルとどのような形で建物同士が連動していくのか。

A 中西市長 新交流複合施設については、まちなかに賑わいを持たせるよう、入口をオープンにして、多くの人が駅周辺に集まるような施設にしたいし、それと道の駅が連動するような形になっていくように考えていきたい。

Q 市民C モンベルが来ることにより、人がまちにお金を落とすという話があったが、モンベルないし企業が来ることは、成功するのであれば、話題性もあるし、喜ばしいことだと思う。しかし、モンベルや道の駅を目的に来た人が、またそこからまちに来るっていう流れがイメージできないが。

A 中西市長 道の駅については、30万人ほど人が訪れているというデータがある。お昼の食事でお店の前に並んでいるのはよく見るが、当然、それぞれが商店街など人が来てもらうようにするためには、魅力づけする必要があるし、留萌市としても、魅力づけをしていかなければならないと考えている。

Q 市民C モンベルばかりに視野を向けるのは良いが、遊具がなく、草が生い茂っている地域の公園もあり、その整備に対して、お金を使うことができないのか。

A 中西市長 公園の整備は、国の補助も使いながら計画的に行っている。街区公園については、遊具の老朽化については、子どもたちの利用状況などを踏まえながら、町内会と協議させていただいている。また、町内会のボランティアが草刈りをしてくださっている公園もあるので、その際は、市の方で草刈り機を貸し出したり、燃料費を負担したりしている。これらについては、実態として見えにくいので、市に直接確認してほしい。

Q 市民D 公設民営について、ランニングコストがかからないことが一番の利点だとの事だが、この考え方を踏まえるとモンベルの事業が始まったあとに、管理の維持費や除雪費、関連経費は市の持ち出しがないと考えてよいか。

A 中西市長 ランニングコストはかからないが、モンベルと連携して、使い勝手の良い建物を建てる予定。また、建設後は、モンベル側が光熱費等を負担しながら、市とともに地域の稼ぎにつながる研究を行っていく。

Q 市民E 税金で施設を建設して事業を進めるという発想は企業側から出されたのか、それとも留萌市が思い切った税金を投入してでもやりたい、誘致したいと思ったのか。

A 中西市長 企業誘致には、税金の免除や雇用への支援など、これまでも条例に基づいて行ってきたが、企業誘致へのインセンティブ（動機付け）の方法として、市（公）が国から補助を得ながら施設を整備して、市の施設に入り、運営していただく形での企業支援もあるものと考え、双方協議の中で、市の方から提案させていただいた。

Q 市民F モンベルについて、冬の集客は見込めないと思うが、何か考えがあるのか。

A 中西市長 モンベルから冬の留萌をどう生かして、アウトドアやアドベンチャーツアーを行っていくか提案をもらいながら、進めていきたい。

まちづくり懇談会の開催結果や配布資料については、市ホームページでもご覧いただけます。また、YouTube（ユーチューブ）に当日の動画をアップロードしておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページの  
QRコード▼



YouTubeの  
QRコード▼

